

大学、病院との連携（平成 24 年度）

1. 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の自家口腔粘膜上皮細胞シート移植治療の実用化への取り組みでは、
 - ・国立がん研究センター（中央病院、東病院）との友好連携覚書を締結し、臨床研究、および先進医療 B の共同実施に向けた協議を開始した。
 - ・スーパー特区連携医療機関である長崎大学を細胞シート移植施設とし、本研究所 CPC を細胞シート製造施設とした独自の多施設臨床研究を実施すべく、定期的なミーティングを開催し、プロトコルの作成や細胞シート輸送に関する協議を重ねた。両大学各々でヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針に遵守した申請書類を作成、提出し、その適合性が 3 月末に認められた。平成 25 年度に開始予定である。
 - ・スウェーデンカロリンスカ大学病院との間で現地における臨床試験実施に向けた連携契約書を締結し、海外プロトコル評価および倫理委員会報告への協力を経て、2012 年 12 月現地にて臨床試験を開始した。年度末までに 4 名の患者の治療に成功した。定期ディスカッションに加えて現地での細胞培養および臨床試験に参加協力し、その国際的な知見を共有した。
 - ・連携先韓国インハ大学において 2 回の講演と連携協議を行い、セルシードを含めた秘密保持契約を締結した。また韓国最大の研究主導型病院アサンメディカルセンターとも交流を深めて、アジア初の臨床試験開始に向けた多展開を進めた。
 - ・本学消化器外科とのより積極的な連携を展開し、医師の積極参加を得て、上記カロリンスカ大学病院、長崎大学、国立がん研究センターとの臨床連携を展開した。
2. 中耳真珠腫の鼻腔粘膜細胞シートによる治療開発では、慈恵医大との間で中耳真珠腫切除後の癒着、聴力喪失を避けるための細胞シート治療を開発し、慈恵医大での臨床研究開始に向けたヒト幹指針申請と応答を開始した。
3. 米国ユタ大学との再生研究と疾患モデル研究拠点計画の共同作成、英国リーズ大学との骨再生に関する共同研究も推進している。
4. 海外からの人材受け入れにも注力し、アメリカ、オランダなど 6 カ国から 10 名の学生、研究者、医師、歯科医を受け入れた。